データポリシーとRDM組織的推進
大学における研究データポリシー策定のその後の経過

NIIオープンフォーラム 2022
AXIES-RDM部会との合同セッション
「大学での研究データ管理体制構築への道のり」

2022年5月31日

国立情報学研究所
船守美穂

NII-OF…AXIES-RDM部会との合同セッション

データポリシーとRDM組織的推進

【発表】

（研究データポリシー策定）

- 大学における研究データポリシー策定のその後の経過（NII・船守美穂）

（RDM組織的推進）

- 京都大学における研究データ管理の組織的推進（京大・松井啓之）
- 名古屋大学における研究データ管理の組織的推進（名大・松原茂樹）

【質疑応答】

- 質問者： 東北大・元木正和
- 会場の皆様、「slido」にアクセスの上、アクセスコード「#0956450」を入力し、質問をぜひ、お寄せ下さい。

研究データポリシー策定ガイドライン発表とその後の動き

学術機関における研究データ管理に関する提言（AXIES）

- 学術機関におけるRDMの必要性や取り組むことの意義、構築すべき仕組みや体制について記述。
- CIOだけでなく、執行部ほか学内のステークホルダに参照してもらいたい。

- 大学ICT推進協議会（AXIES）
- 研究データ管理（RDM）
  - Research Data Management

Source: 大学ICT推進協議会「学術機関における研究データ管理に関する提言」（2019）
https://rdm.axies.jp/sig/57/

研究データ管理において
大学で必要とされる体制（案）

どうせデータ管理するなら、大学の研究力強化につなげたい！

Multi Stakeholder Approach

執行部

全学ポリシー、大学戦略

研究公正担当 ― 研究担当 ― 図書館担当 ― 情報担当

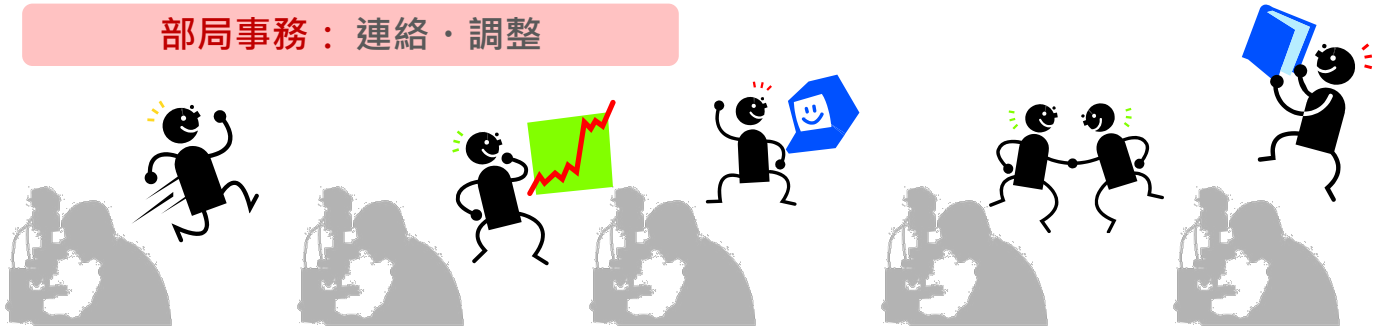
学長

全学サービス

研究推進部	研究支援部門（URA Station）	大学図書館	情報基盤センター
研究事務 研究公正	研究評価 研究支援	データ保全 データ公開	情報基盤 ITポリシー

研究現場

部局事務： 連絡・調整



RA、院生、技術職員、ラボ管理者、実験補助者 等： データ生成・管理

業界団体，ネットワーク

- データ保護
- キュレーション
- 分野別学会

ポリシー策定
専門的助言

「大学における研究データポリシー策定のためのガイドライン」（AXIES）2021年7月

- 大学において研究データポリシーを策定するにあたっての考え方や手順をとりまとめ。

目次

1. 利用にあたって
2. ポリシー策定するにあたって
3. ポリシーの類型
4. ポリシーの項目と検討の視点
5. ポリシー策定のプロセス

➢ 大学ICT推進協議会（AXIES）

Source: 大学ICT推進協議会「大学における研究データポリシー策定のためのガイドライン」（2021）
https://rdm.axies.jp/sig/70/

第6期科学技術・イノベーション基本計画
…（2）新たな研究システムの構築
（オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進）

【数値目標】

- 機関リポジトリを有する全ての大学・大学共同利用機関法人・国立研究開発法人において、2025 年までに、データポリシーの策定率が100%になる。
- 公募型の研究資金の新規公募分において、2023 年度までに、データマネジメントプラン（DMP）及びこれと連動したメタデータの付与を行う仕組みの導入率が 100%になる。

■ 関連文書

統合イノベーション戦略推進会議 （令和 3 年 4 月 27 日）
「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」
https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kokusaiopen/sanko1.pdf

Source: 第6期科学技術・イノベーション基本計画
https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/6honbun.pdf

AXIES-JPCOAR研究データポリシー策定WS（第一回）（2021.9.28開催）

第三回WS
参加希望者
10名以上で
開催予定

第二回WS
11/30開催

AXIES-JPCOAR 研究データ連絡会

大学において研究データポリシー策定義務化？！さてどうする？

AXIES-JPCOAR研究データポリシー策定WS（第一回）

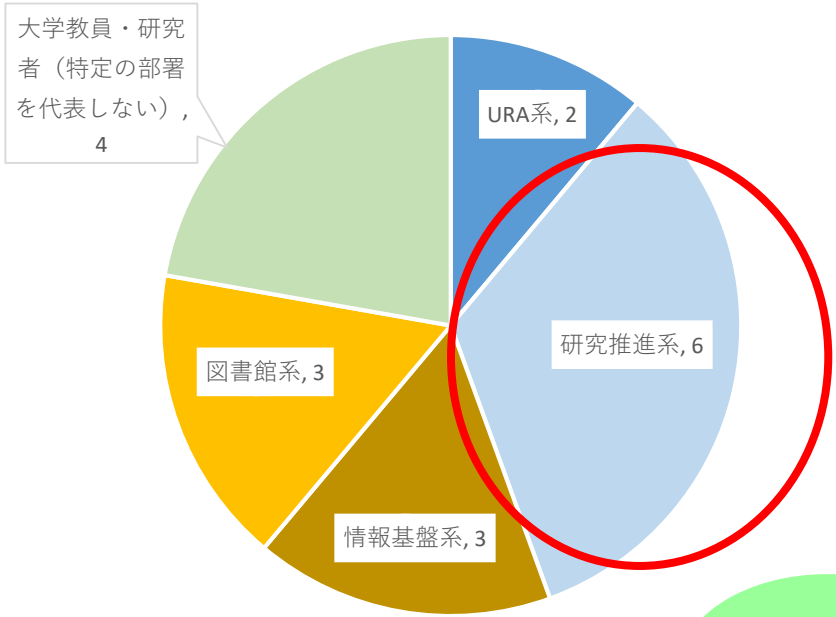
開催趣旨

第6期科学技術・イノベーション基本計画において、「機関リポジトリを有する全ての大学・大学共同利用機関法人・国立研究開発法人において、2025 年までに、データポリシーの策定率が 100%になる」という目標が立てられました。機関リポジトリを有する大学は600以上あるので、国内ほぼ全ての大学がポリシーを策定しなくてはいけないということになります。多くの大学が慌てているのではないでしょうか？AXIES「大学において研究データポリシー策定のためのガイドライン」を取りまとめたメンバーにとっても国の建てた目標は驚きで、急に拡大したガイドラインへの需要に驚いています。
「大学ICT推進協議会(AXIES) 研究データマネジメント部会」および「オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR) 研究データ作業部会」は世界におけるオープンサイエンスの潮流を受け、ここ数年、大学における研究データ管理について検討を進めてきました。それぞれ情報基盤センター等および大学図書館のコミュニティを中心に検討を進めてきていますが、大学において研究データ管理を進める上での両者の連携の必要性を念頭に、昨年2020年7月に「AXIES-JPCOAR研究データ連絡会」を立ち上げています。
今回の研究データポリシー策定WSは、この連絡会の主催としますが、AXIESとJPCOARのコミュニティのみならず、研究推進系やIR/URA系、産学連携/知財系、企画/総務系などからの参加も歓迎します。このWSを通じて、大学において研究データ管理を推進するために必要な大学および部署横断的な連携が進むことを期待しています。

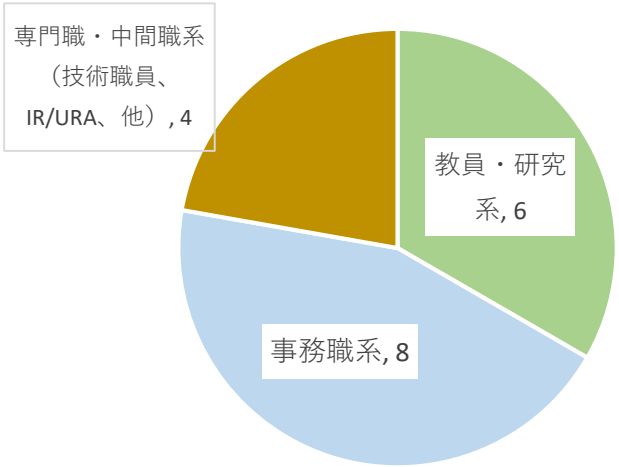
https://sites.google.com/view/axies-jpcoar/event/20210928ws

AXIES-JPCOAR研究データポリシー策定WS（第一回）…参加者属性

所属部署属性



職系



AXIES-JPCOAR研究データポリシー策定WS（第三回）…参加者募集中

AXIES-JPCOAR 研究データ連絡会

sites.google.com/view/axies-jpcoar/event/第三回ws?authuser=0

AXIES-JPCOAR 研究データ連絡会　home · event · project

リピートセッション

大学において研究データポリシー策定義務化？！さてどうする？

AXIES-JPCOAR研究データポリシー策定WS（第三回）

前回WSにて参加登録が緩やかになっていたため、**第三回WSは希望者を募り、希望者が10名を超えた段階で開催日時を調整し、開催**したいと思います。

参加希望の方は、仮で良いので、以下にエントリー下さい。

なお、過去のWS参加者の再参加も歓迎します。

エントリー制！

○第三回WSの開催を希望します（エントリー要）

国内大学の研究データポリシーと実施要項の必要性

研究DPのパターン

① オープンサイエンス型DP

② コンプライアンス型DP

③ 折衷案型

---

a. 研究公正に関わる規定やポリシー
（「研究データ10年保存ルール」）

b. 機関リポジトリに関わるオープンアクセスポリシー

c. その他

先行大学の研究データポリシー

- 京都大学
  - 研究データ管理・公開ポリシー（2020.3）
- 名古屋大学
  - 学術データポリシー（2020.10）
- 東京工業大学
  - 研究データポリシー（2021.4）
- 東北大学
  - 研究データ管理・公開ポリシー（2021.12）
- 金沢大学
  - 学術データマネジメントポリシー（2022.3）

いずれも
オープンサイエンス型
だよ！

名古屋大学 学術データポリシー

令和2年10月20日 教育研究評議会 承認

（目的）

1．　名古屋大学は、名古屋大学学術憲章に基づき、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを使命とする。そのため、名古屋大学は、研究と教育に関する学術活動によって産み出された知的成果を蓄積し、それを社会に還元することで、人類の福祉と文化の発展および産業の振興を目指す。

本ポリシーは、以上の理念のもと、名古屋大学における学術データの管理ならびに公開および利活用の原則を定める。

（学術データの定義）

2．　本ポリシーが対象とする学術データは、名古屋大学における研究と教育に関する学術活動を通じて収集または生成されたデータをいう。

（学術データの管理等）

3．　学術データの管理ならびに公開および利活用の方法は、それを収集または生成した者が、法令および名古屋大学の規程その他これに準ずるものの範囲内ならびに他の者の権利および法的利益を害さない範囲内において、決定することができる。

（大学構成員の責務）

4．　名古屋大学の構成員であって、研究または教育に携わる者（以下、「大学構成員」という。）は、前項に掲げる範囲内において、学術データを適切に管理し、可能な限りそれを公開し、利活用に供する。

（大学の責務）

5．　名古屋大学は、学術データの管理ならびに公開および利活用を支援する環境を大学構成員に提供するものとする。

名古屋大学 学術データポリシー（PDF版）

名古屋大学 学術データポリシー 解説（令和2年9月25日 研究戦略・社会連携推進分科会 研究データ基盤整備部会）

大学において
RDMが実施に移されるまで

研究
データ
ポリシ

解説
・補足

全学
アクション
プラン

部局
実施要領

ポリシー策定で
満足しないことが
大事！

研究
データ
戦略

※ ポリシー策定と、RDM実践の順番を逆、または
並行して実行することもOK。

実践があることで、ポリシーが明確になることあり。

NII研究データポリシーと
DMPを用いた
機関の研究データガバナンス構築に向けて

NII-RDP
…所長からのオーダー

1. 理想のポリシーを策定し、全国で参照可能として欲しい

2. 折衷案型で、①機関のコンプライアンスと、②研究データの共有・公開の促進をして欲しい

NII-RDP…所長からのオーダー
…理想のポリシー

1. 機関の研究データガバナンスを規定するものとして策定
2. 具体性のあるアクショナブルなポリシーとして策定
   ① 基本方針
   ② 研究データの管理・公開枠組み

研究データの機関管理（イメージ）

「機関と研究者」の協力関係を取り持つGakuNin RDM

- ✓ 研究者は、日々の研究活動をGakuNin RDM上で行うことで、無意識のうちに「研究データの機関管理」を実現。
- ✓ 機関は、GakuNin RDMを提供し、その中で研究データが管理されることにより、「研究データの機関管理」の体を保つ。
  - 機関は、コンプライアンス対応時にのみGakuNin RDM内のファイルに強制的にアクセス可能
- ✓ ①DMPと②根拠データは、研究プロジェクトのサブフォルダとして管理し、将来的には研究プロジェクトの外形情報（助成情報、期間、メンバー、タグ等）が転写可能とする

NII RDCトラック5 - NII OPEN FORU

nii.ac.jp/openforum/2022/day4_nii-rdc5.html

NII 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 National Institute of Informatics

オンライン開催

学術情報基盤オープンフォーラム 2022

5/30 月 – 6/2 木

About | Time Table | Contact

お申し込み [登録フォームにリンクします]

国立情報学研究所 オープンハウス2022

Day4 | 6/2（木）

NII RDCトラック5

大学における研究データガバナンス

研究データの重要性が高まるにつれ、機関内における研究データガバナンス構築の必要性が高まっている。
NIIでは、機関の研究データガバナンスを規定するものとしての「NII研究データポリシー」を策定中であり、ポリシーの中で、機関と研究者のコミュニケーションツールとしての研究データ管理計画（DMP）を想定している。また、NII-RDCデータガバナンス機能において、全国共通機能としてのDMPツールの実装を検討している。
本セッションは、機関内における研究データガバナンスについて、NIIにおける構想と大学におけるニーズを紹介し、より良いシステムの構築に向けて協力を呼びかける。

6/2（木）13:00–14:30　是非、ご参加下さい！